

名 称	群馬県立高崎高等特別支援学校 P T A
会 員 数	170人（令和5年5月1日現在）
組 織 ・ 運 営	<p><b>【組織】</b></p> <p>（1）本部役員14名          会長 1名（P） 副会長3名（P2/教頭1）          書記 3名（P2/T1） 会計3名（P2/事務長）          会計監査 2名（P） 顧問2名（P1/校長）</p> <p>（2）専門委員会          学年委員18名（P18）          進路委員28名（P26/T2）          文化委員28名（P26/T2）          広報委員27名（P25/T2）          保体委員25名（P23/T2）</p> <p><b>【組織説明】</b></p> <p>（1）本部役員会 ・年4回の役員会・役員の大会参加          （2）役員会（本部役員・専門委員会委員長・校長・教頭・事務長）          ・各会議の決定機関          （3）学年部 ・マナーアップ運動          （4）進路委員会 ・事業所見学会や進路講演会の企画運営、文化祭模擬店          （5）文化委員会 ・リース作り教室などの企画運営、文化祭模擬店          （6）広報委員会 ・会報の作成、文化祭模擬店          （7）保体委員会 ・学校保健委員会の参加、文化祭模擬店</p>
主 な 活 動	<p>1. PTA 模擬店</p> <p>コロナ以前は、飲食スペースを設置し、模擬店（カレー、いなり寿司、フランクフルト）など、生徒と来場者の昼食になるようなものを販売していたが、感染症対策と保護者の負担を考慮し、飲食スペースを廃止し、模擬店の品物を個包装のものとした。予算については、以前一団体70,000円程度、販売単価500円程度で実施していたが、一団体5,000円、単価50～100円とし、令和4年度から再スタートした。くじ引きや飲み物販売などのアイデアを出してもらい、委員会ごとに買い出し、当日準備、販売を行っている。</p> <p>令和4年度文化祭実施後の反省会で、用意した品物が売り切れてしまい、買えなかった生徒に申し訳なかったという感想があり、予算増額を希望する意見があったため、令和5年度は、一団体10,000～12,000円で実施した。</p> <p>販売当日の一人あたりの担当時間が30分程度なので、保護者の負担感は少なく、協力することができている。今年度の収支は、-614円で、PTA会費の収入にはならないが、お子さんや一般の来場者とのふれあいにもなり、参加に意義を感じていただけている。</p> <p>本校生徒は、文化祭のお小遣いとして500円をもって買い物ができるこ</p>

とになっている。生徒にとっては、文化祭での楽しみのひとつとなり、金銭のやりとりの買い物学習、対面でのコミュニケーション学習になっている。



## 2. 会員相互の学びや親睦を深める活動

・事業所見学会では、進路指導部と連携し、事業所やグループホームの見学を行っている。参加者からは、「進路実現や自立のために、家庭生活で身に付けさせたいことが具体的にわかるので良かった」と感想をいただいている。

・音楽教室では、プロの演奏家をお招きして、本部役員が受付、司会を担当し、本校体育館でスクールコンサートを行っている。生徒、保護者、教師と一緒にクラシック音楽を楽しみ、リラックスした時間が過ごせるので、毎年恒例の行事となっている。

・文化委員会主催の文化教室では、クリスマスリース作りやお正月飾り作りを行っている。PTA 会員が準備を行い、楽しみながら実施している。会費は参加者から 500 円を徴収し、PTA 会員同士でコミュニケーションをとりながら、毎年とても華やかな作品が作られている。

・令和 5 年度より、進路委員会主催で年金セミナーや卒業生の保護者をお招きして経験談を聞かせていただく会も企画運営し、卒業後の生活を見据えた学びの機会となる活動を行っている。

